



西彼杵高校「学びの共同体」 第7回公開授業研究会



12月20日（水）、標記研究会を開催いたしました。本校では、この「学びの共同体」による協同学習の授業を実践して、今年度3年目となります。生徒一人ひとりを大切に、主体性や対話的学びへの姿勢を向上させ、これからの時代を生き抜く「学ぶ力」を育むことを目指しています。今回は県の「次代を担う高校生の資質・能力を育成する指導改善プロジェクト」研究指定校としての中間報告会を兼ねていましたが、当日は、西海市内の小中学校や県内外の学校の教師、行政関係の方々など100名を超える皆様に参観していただきました。

公開授業、中心授業、授業研究の後には「学びの共同体」の創始者で現在学習院大学文学部教授（学校教育学）でいらっしゃる、佐藤 学 先生にご講演いただきました。佐藤先生は「一年の最後、この西彼杵高校への訪問は、Big なプレゼントだった。子どもは学びの主人公である。生涯にわたって学ぶことができる子どもを育てること、そして教師が生きがいとやりがいを感じることを目標にしている。希望を持ち続けて良かった。」と仰られました。また、当日来校して下さった福田鉄雄前校長からは、「生徒の表情が柔らかく自然になっている。テキストに入り込んで、その後語りあっていて、深化している。」とコメントをいただきました。



3の1 現代社会



1の2 国語総合



中心授業 2の1 コミュニケーション英語Ⅱ

授業研究の様子
先生たちも学びます...



佐藤学先生の講演。→
勇気をいただきました。

